

日本パペットセラピー学会(JPTA)からのお知らせ

* 主な記事

- ・地域活動紹介 “パペットセラピー研修会 in 埼玉”
- ・第13回(2019年度)大会のお知らせ
- ・事務局からのお知らせ
- ・地域活動助成金制度のご案内

2019年5月27日 JPTA事務局 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢8-10-7
メールアドレス info@j-pta.net FAX 03-3702-3097 URL <http://www.j-pta.net/>

お待たせいたしました。令和元年度第1回ニューズレターを送信させていただきます。新たな年号を迎え、皆様のご意見ご感想をよりお伝えできるようなニューズレターをお届けしたいと思っております。

(副理事長：中下富子)

日本パペットセラピー学会第13回(2019年度)大会 第一報

大会テーマ：^{ダイアログ}対話を促進するパペットセラピー

会期：2019年(令和元年)10月20日(日) プレセミナー 10月19日(土)

会場：相模女子大学キャンパス 夢をかなえるセンター4F「ガーデンホール」

(神奈川県相模原市南区文京2-1-1：小田急線相模大野駅 徒歩10分)

大会長：森平 直子 氏 (相模女子大学)

大会参加申し込みご案内郵送：6月1日

大会参加費：会員3,000円 非会員：5,000円 懇親会参加費：1,000円

申し込み締め切りは9月30日

※ 詳細は、学会ホームページにアクセスしてください。

地域活動助成金制度のご案内

令和元年度も今まで通り、パペットセラピーに関する地域活動を助成いたします。助成金は、一回につき1万円です。申請は令和元年度末まで随時受け付けておりますので、ホームページに掲載してあります書式を作成の上、JPTA事務局まで添付送信してください。なお、JPTAの共催、協力、後援などのご希望は、その旨、事務局にご連絡ください。

地域活動報告：パペットセラピー研修会 in 埼玉

本学会の地域活動助成金制度を活用して、“パペットセラピー研修会”を以下のように開催し大盛況に終了いたしましたので、ご報告させていただきます。

開催日時：2019年（平成31年）3月10日（日）10:00～15:00

会場：埼玉県立大学 北棟202

主催：日本パペットセラピー学会会員

中下富子（埼玉大学）・上原美子（埼玉県立大学）・須賀綾子（高崎市日本語指導員）

共催：日本パペットセラピー学会

参加費：学会会員1,000円（資料・パペット材料等を含む。）・一般2,000円

参加者：20名

講師：安藤倫子先生 日本腹話術師協会（JVA）理事、JVA認定インストラクター

内容：パペットセラピーの作成と活用の方法、及びパペットの操作方法

1) 腹話術を見てみよう！ アンディと仲間たちのショータイム（10:00～10:30）

2) パペットを作ろう！ 靴下を用いて靴に入るサイズの、ともだちパペットの作成（10:30～12:00）

3) 腹話術のやり方を学ぼう！（13:00～14:00）

腹話術のポイントはすべて目と耳の錯覚のためにある！

- ・キャラクターボイス（声の出し方）
- ・リップシンクロ（口パクのタイミング）
- ・リップコントロール
- ・キャラクター（世界に一人だけの君）
- ・マニピュレーション（しゃべらなくても生きています）

4) 腹話術について語り合おう！（14:00～15:00）



ご参加いただきました皆様の感想をお伝えいたします。

昨年も参加させていただき、2回目の研修でした。前回のパペット「トマトくん」とはまた異なる雰囲気のパペットを創ることができて楽しかったです。操作の仕方や操作の方法を教えていただき、周りの方と一緒に練習することができたので、パペットの操作が前進できたように思います。

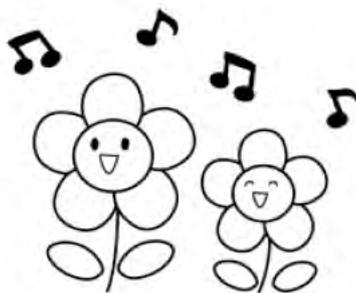
今回は、黒いネコのパペット「ココア」を作りました。祖母の家の愛ネコ「ミルク」と仲良くなるお手伝いをしてもらえたらと思い、相性の良さそうな名前にしました。ネコの鳴きまねを教えてもらって一石二鳥でした。春から高校に養護教諭として勤務するので、「ココア」に早速お手伝いをしてもらおうと思います。今回も楽しく参加できました。ありがとうございました。（Mさん）

パペットに魂が宿る瞬間を見ることができました。どのようにしゃべっているのか不思議で見入ってしまいました。キャラクターに合わせた声のトーンはピッタリ合っていて、本当にパペットがしゃべっているようでした。実践するには、まだまだ難しいですが、自分ができるようになったら、子供たちと会話してみたいです。また新しいパペットを作りたいと思います。(Kさん)

パペットを作るということで貴重な経験ができ、私だけの世界で一つだけの相棒ができて、とても嬉しく思います。

大学3年になった今でも楽しくみられるパペットを将来養護教諭として、児童生徒の前で披露して、児童生徒の笑顔を元気につなげられたらいいなと思いました。(Aさん)

パペットは、作成をし始めたところから相棒になっていくのだと思いました。どんな表情にしようか、どんな色合いにしようか等考えながら材料を選んでいくことで、気持ちが入っていくのかもしれないと思いました。名前をつけてパペットの履歴書を作成し、より身近な存在になってくれることで自分も周りも癒してくれる存在になるのだと思いました。鏡に向かってまずは仲良くなっていきたいと思います。この機会をいただき感謝します。(Aさん)



パペットを通じて子どもの心を開くことができると聞いていて、すごいなあと思いつつ、本当にできるのかと疑問に思っていました。

でも今日実際にパペットを使った腹話術を見たり、自分で作って練習をしたりしたら、本当に子どもの心が開けると実感しました。必ずしもそうはならないかもしれませんが、自分が困ったときや悩んだときは、パペットに頼りたいと思います。(Yさん)

初めて腹話術を生で拝見しましたが、本当に人間に命が吹き込まれたようで抵抗なく世界観に引き込まれて楽しい気持ちになりました。自然に笑顔になっていて教室の全体の空気が柔らかく温かくなったように感じて不思議な力があると実感しました。

私は現在、学童クラブで指導員をやっているのですが、中にはなかなか心を開いてくれなかったりコミュニケーションをとることが難しい子どもがいます。直接的には難しくてもパペットを通すことでコミュニケーションをとれるようになるかもしれないと思ったので、今度実践してみたいと思います。(Mさん)

実際にパペットを作成し腹話術を体験して今まで知らなかったことやよくわかっていなかったパペットセラピーについて具体的に理解することができた。他人への心の働きかけだけでなく、自分の心にも働きかけられることができると理解したため、今後の生活や養護教諭になった際にも是非利用してみたいと思った。(Sさん)

手の動きと声色を変えるだけで本当に生きているみたいで一気に引き込まれました。二人での会話もテンポがよくて、ただのものではなく、相棒として生きているのだなと感じました。実際にやってみて、とても難しかったけれど、声と動きが上手く合った時は本当にお話をしているみたいでとてもうれしかったです。人とのかけ橋になってくれるパペットを大切にしていれば一緒に頑張っていけたら素敵だなと思いました。(Aさん)

身近なものでパペットを作ることがわかり、はじめての体験でしたが、かわいい、世界で唯一の相棒を作ることができました。

将来、養護教諭として、子どもたちから悩みや不安を口に出してもらったり、信頼関係を作ったりする一つのコミュニケーションとして生かしていきたいと思います。また、自分自身が相棒を愛することで子どもたち等を楽しませることができる技術も身に付けていきたいと思います。(Kさん)

実習等で疲れていましたが、自分だけのパペットを作ることが楽しく、良いリフレッシュができました。

また、作っているときもお互いにいろいろなお話もでき、すごく楽しかったです。パペットを使ってお話をするだけでなく、一緒に作る時もリフレッシュできるということ学びました。(Hさん)

声の出し方、できそうだと思います。また、細やかな注意点も分かりました。スピーチセラピーをしています(発達障害の子)。やはり、子どもが自分で操作したがるので、使わせて良いか・・・？どのように活用させるとよいのか？今後考えていけたらと思います。大変役立っています。(Mさん)

「腹話術は錯覚」という言葉通り、安藤先生の腹話術はパペットが生きているように見えて自然と笑いが込み上げてきて笑顔になれ、時には心に響くような言葉もありとても感動しました。

自分で世界でたった一つのパペットを作ることができ嬉しいです。これから先、辛いことがあった時等に使っていこうと思います。(Tさん)

パペットが簡単につくることができると思いませんでした。このパペットを大事にし、養護教諭として働いた時に、うまく活用して子どもたちとの関係を築いていきたいと思います。

また、日々の疲れや楽しかったことをパペット「グー」に話しかけて毎日楽しく過ごすことができたらいいなと思います。(Tさん)

ご参加いただき、感想用紙をご提出してくださいました理事の皆様からのご感想です(五十音順)。

<近喰ふじ子理事> 安藤先生から、5つのポイントが学べて、今日の参加は大きな成果でした。大学の遊戯療法の講義の中で依頼してきましたが、どなたからも今まで5つのポイントを聞けませんでした。現在、発達神経症のクリニックで子どもたちの治療をしているのですが、口を開ける時にパペットを使いましたら100%成功でした。視覚化作用が重要といわれている療育にも実践でき、嬉しく思います。

<須藤恵子理事> パペットの作成では、初めての方でも扱いやすい素材で、それぞれの個性が発揮されていて、みていてとても楽しかったです。安藤先生のお話がとてもわかり易かったです。

<出山雅章新理事> アンディさん(安藤先生)の腹話術がみられ、それだけでも満足でした。腹話術を初めての人にどう教えていったらいいのか大変勉強になりました。パペットも作れてよかったです。自分で作成するときには、接着剤にグルーガンを使ってみようかと思います。腹話術やパペットは、案外みんな手に取るまで抵抗があるので、こういう機会は大変大切だと思いました。

<森平直子理事> パペットづくりは初めてで上手く作れない、かわいらしくならないと思っていたのですが、だんだん愛着がでてきて、何だか憎めない相棒という気がしてきました。これからいろいろ語り合います！レッスンではちょっとしたコツで少しそれらしくなったような気がして練習し色々な声を使い分けられたらと思います。先生とパペットとの掛け合い、間の取り方、パペットの細かな動きや視線な等、錯覚が強められていることがよくわかりました。先生が手足のパーツのご準備等もしてくださりととても大変だったと思います。

お 知 ら せ

○機関誌「パペットセラピー」第12巻は、今年度6月に配信予定です。

○今年度の「パペットセラピスト」の申請締め切りは、5月末日です！5年以上会員履歴のある方は、奮ってご応募ください。詳細は、ホームページの案内をご参照ください。

○平成30年度末理事会におきまして、新たに、**出山雅章氏が新理事に就任**されました。

また、平成29年度末に阿部雅代事務局長が退任されましたが、後任の適任者が不在のため、**令和元年度も、業務は、引き続き阿部顧問が事務局の理事長補佐**として行います。今年度も本学会の運営、発展等について、会員の皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

○ホームページに「**会員専用ページ**」を開設しました。本年度の年会費を納付された会員の方には、ログインパスワードをお知らせする通知を送付しました。なお、今後納付の確認ができた方は、その都度通知します。

また、ホームページには、会員の方にお知らせする内容が掲載されていますので、定期的に確認をお願いします。

○今年度からは、アウトプットにも力を入れて活動しますので、会員専用ページには、そのための資料も順次掲載します。会員の方が活用していただけるように充実に努めますので、ご意見、ご要望も事務局あてお寄せください。

お問い合わせ先：日本パペットセラピー学会事務局 info@j-pta.net